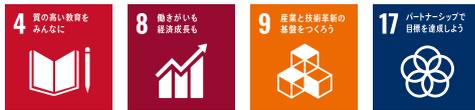


## 未来を創る総合戦略 基本目標・施策の方向性

- |          |   |
|----------|---|
| ①【雇用】    | i チャレンジャーの支援<br>ii 誰もが働きやすいまちをめざす<br>iv 新しい市場を作る            |
| ②【ひとの流れ】 | ii 目的意識を持って訪れる人にとって魅力的な環境の創造<br>iii まちの魅力を活かした過ごし方やできることの発信 |
| ④【活性化】   | v 安心して快適に暮らすための事業推進   |

## 第1節 産業の振興と発展

### 第1項 工業振興の取組み



#### ■ 施策の方針

町の工業は、電機、機械、精密産業を基盤とする多くの工場が集積し、高い技術力を持つ「ものづくりのまち」として発展してきました。高齢化、後継者不足による工業関係企業の減少の中にあっても、産業界を支えるものづくりのDNAを絶やすことなく、確かな技術力を継承していくため、新たなニーズに対応するなど、さらなるものづくりの振興を推進します。

経営基盤の強化と経営革新に向けての自助努力を支援するため、県や町の制度資金の適切な活用に努め、企業誘致などを視野に入れ、工場の新設、増設及び取得に対する支援に加え、蓄積した技術を継承するための人材育成、創業支援も推進していきます。

ものづくり支援センターしもすわを核としたワンストップサービスを提供するとともに、町と商工会議所が連携して企業間連携の構築、新分野や新商品の開発、受注開拓の支援、各種情報発信など、町内企業の下支えとなる取組みを推進します。

#### ■ 現状と課題

戦前は製糸産業の発展に起因して栄え、戦後は国内有数の精密工業の集積地を形成して高い技術力により「ものづくりのまち」として発展してきました。近年、激化する海外競争や高齢化、後継者不足により、この10年間で30社程度の工業関係企業が廃業、転業し、現在では190社ほどに減少しています。町内企業の組織形態は、約半数が4人以下の小規模企業であるため、高齢化と世代交代に苦慮しているところであり、技術者の雇用や人材の確保が難しい状況となっています。

今後、企業間連携の強化と既存の技術や技能を高めながら新分野・新市場への進出、技術研究、共同受注、人材確保など企業、業種、分野の垣根を越えた総合的なネットワークの構築が必要になってきます。大企業の町内への進出により、町内企業が先端技術のノウハウを学び、より付加価値のある機器や新製品の共同開発による新たなビジネスを展開することにより、地域経済の活性化につながることが期待されています。



展示会共同出展事業

### ■ 施策の展開

主な取組み	内 容
ものづくり支援センターの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種支援メニューの活用促進</li> <li>企業情報等の発信と受信の強化</li> </ul>
連携による新分野・新市場展開への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>新製品開発、新技術開発への支援</li> <li>NPO諏訪圏ものづくり推進機構などの支援機関との連携強化</li> </ul>
受注確保や技術の高度化への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携によるユニット・モジュール受注、商談会等営業開拓、技術高度化の強化</li> </ul>
販路開拓やマーケティング強化への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>販路開拓、マッチング、マーケティングなどへの支援</li> <li>情報発信の強化</li> <li>空き工場などを活用した企業誘致への支援</li> </ul>
人材育成と後継者の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業従事者研修補助、異業種・他地域交流事業、次世代製造業の人材育成</li> <li>首都圏などからの技術者の移住促進</li> <li>多様な分野におけるAI<sup>1</sup>、IoT<sup>2</sup>の効果的活用の検討</li> </ul>
経営サポートの充実や各種補助・支援制度の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営力向上に関する各種セミナーの開催</li> <li>中小企業者の事業資金の円滑調達と経営健全化の促進</li> <li>事業承継に係る支援体制や制度の検討</li> </ul>
諏訪圏域内連携によるものづくり産業振興と人材育成の体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域内企業研究会、セミナーの開催</li> <li>諏訪地域の精密加工技術を活用できる産業分野の開拓</li> <li>NPO諏訪圏ものづくり推進機構を中心とした諏訪地域のものづくり産業振興のための連携強化</li> </ul>
創業支援計画に基づく創業者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業塾、創業体験談セミナーの開催</li> <li>ワンストップ相談窓口の開設</li> <li>各種補助制度を活用した支援</li> </ul>

### ■ 重要業績評価指標 (KPI)

【総合戦略目標①-iv】【SDGsターゲット8.3】

ものづくり支援センター受発注支援金額 (センターを介したコーディネート等で受発注を支援した合計額 産業振興課)	
現状 (平成27年度～令和元年度平均)	目標 (令和7年度)
2億7,701万円	3億円

1：人工知能

2：あらゆる物がインターネットを通じて相互に情報交換する仕組み

## 第2項 商業振興の取組み



### ■ 施策の方針

個々の商店が独自の商圈を営んできた有形無形の資産や空き店舗などの地域資源を活用し、商店街の組織力の向上、後継者や地域を活性化するリーダーの育成を行い、地域住民同士が交流できる憩いの場として、楽しさやふれあいを持続的に提供できる商店街コミュニティの強化を図ります。

商業者間の連携と協力、町の歴史文化などの地域資源活用、消費者のニーズに合わせた販売促進、消費の拡大を図るため、商業者自身の知恵や工夫と参画を促し、商業団体や活性化をめざす各種団体との協働により、起業支援、事業承継支援、空き店舗対策、環境に配慮したやさしいまちづくりを進め、若者や意欲ある事業者への支援と新たな商業形態に対応できる商業地域の再構築をめざし、景観形成と環境整備を推進します。

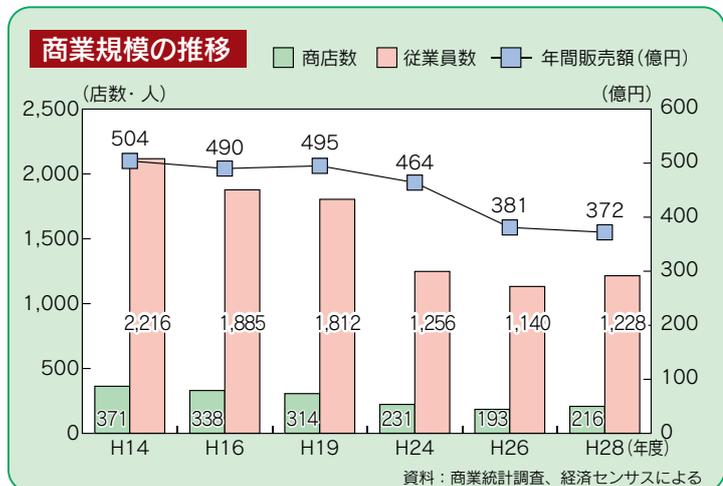
また、交流人口の拡大と移住定住の促進、地域の活性化を図るため、個性と魅力があふれる店舗や商店街を再生する取組みを支援します。



創業スクール

### ■ 現状と課題

商店街は、人々の生活を支えるだけでなく、歴史や文化を背景に人が集まるまちの顔、賑わいと交流の場として存在し、楽しさやふれあいなどの付加価値を提供してきました。少子高齢化などによる市場の縮小、後継者不在による空き店舗の増加、若年層の生活様式の多様化、大型店舗やネット販売などによる流通の変化に伴い、商店街は衰退傾向となりましたが、活性化に向けた新たな投資は難しく、消費者の継続的な利用と効果的な事業展開に苦慮しています。



一方、商店街に個性ある店舗の誘致や支援、空き店舗リノベーションや若者の創業支援による地域活性化、新しい商店街の形成に挑戦して、自らの努力により人の流れを取り戻そうとする動きが活発になってきています。

こうした自発的活動の成功事例がモデルケースとしてほかの商店街に波及していくことをめざし、個々の商店の力を引き出すための支援や、商店街が一体となり消費者に質の高いサービスを提供し、顧客満足度の向上を図る取組みを推進していく必要があります。

## ■ 施策の展開

主な取組み	内 容
観光開発に並行する商店街整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の魅力向上のための支援</li> <li>・商業施設などの投資事業への助成</li> </ul>
商業団体との情報共有と活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所への助成、支援</li> <li>・商業団体への助成、支援</li> </ul>
融資あっせん制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業の資金の円滑な調達と経営の健全化推進</li> <li>・融資あっせん制度の利用促進</li> <li>・制度案内の啓発活動の実施</li> </ul>
起業支援と個性あふれる商店街創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジ起業支援事業の推進</li> <li>・若者や意欲のある事業者への支援</li> <li>・AI、IoTの活用など、新たな事業形態への対応と支援</li> <li>・事業承継に係る支援体制や制度の検討</li> </ul>
地域経済活動の活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の消費促進事業への支援</li> <li>・空き店舗活性化事業への支援</li> <li>・後継者やリーダー育成のための支援</li> <li>・商業イベント事業への支援</li> <li>・各種補助金制度による町内企業の活性化支援</li> </ul>
地域資源を活かした商圈拡大の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商圈拡大のためのイベント事業への支援</li> <li>・商工会議所と連携した下諏訪ブランド商品の開発</li> <li>・事業者の参画による観光と連携した施策の推進</li> </ul>
創業支援計画に基づく創業者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業塾、創業体験談セミナーの開催</li> <li>・ワンストップ相談窓口の開設</li> <li>・各種補助制度を活用した支援</li> </ul>

## ■ 重要業績評価指標 (KPI)

【総合戦略目標①-i】【SDGsターゲット8.3】

チャレンジ起業支援件数（支援金交付確定件数 産業振興課）	
現状（平成27年度～令和元年度平均）	目標（令和7年度）
2.8件	5件

## 第3項 勤労者への支援



## ■ 施策の方針

産業構造や自然環境などに配慮したうえで、商工業だけでなく、農業や観光業も含めて雇用機会の確保や創出につながるよう、地域特性を活かした労務対策に取り組みます。

特に、医療・介護・福祉の先進分野における雇用拡大や、首都圏など広域的な人材の確保を図るとともに、少子高齢化による生産者人口の減少を踏まえ、中高年の雇用促進、心身に障がいを持つ方、豊富な技術を持つ高齢者の就労支援も推進していきます。

町の豊かな歴史・文化・自然が育む住環境を希望する方々に、町が進める移住定住促進の取組みと企業の募集状況などを紹介し、地域や民間の関係団体や事業者とも連携を図りながら積極的に情報を発信していきます。

働く青少年に対しては、体力づくりや学習活動、その他交流の場を提供するために、各種教養講座・教室を開催するなど、勤労者に寄り添った支援に努めます。

### ■ 現状と課題

合計特殊出生率の低下や出生数の減少などが人口減少社会を加速させている反面、東京圏への転入超過数は増加傾向にあり、東京圏への一極集中が顕著になっています。

地域経済は、有効求人倍率や一人あたり名目賃金、常用就業者数など雇用・所得面でゆるやかな回復の基調が見られるものの、消費の復調は大都市圏に比べて遅れており、不安定な景況感は長期化の様相を呈しています。

雇用を促進するうえでは、通勤圏域内にある経営者の理解が不可欠であり、近隣市町村と連携した企業誘致や産業振興への対策が必要になっています。

勤労者の生活を支えるという観点では、生活資金融資申込件数が低調である現状を踏まえ、融資制度の利便性向上や周知方法の検討が必要になるとともに、働く青少年が余暇を利用して社会人としての教養や知識を身につける場を提供するにあたり、若者の多様な働き方に合わせた講座の開催、参加しやすい環境の整備が必要になります。

### ■ 施策の展開

主な取組み	内 容
若年労働者の求人対策と定着支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同就職説明会の定期的な開催</li> <li>・ 地域企業情報の提供</li> <li>・ 労働者の人材育成や支援</li> <li>・ 地域内環境・産業の魅力のPR</li> </ul>
労働者の雇用安定、U I J ターンの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 求人情報の提供</li> <li>・ 求職者情報の提供</li> <li>・ 移住促進メニューの提供</li> <li>・ 諏訪圏域内連携による雇用確保の体制整備</li> </ul>
中高年、障がい者の雇用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業主への奨励金の交付</li> <li>・ 下諏訪町障がい者計画に基づく就労支援</li> <li>・ シルバー人材センターを活用した中高年の生きがいと雇用の創出</li> </ul>
労働条件の改善と労働福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労務対策協議会との連携</li> </ul>
勤労者福祉の向上と中小企業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諏訪湖勤労者福祉サービスセンターへの助成による労働福祉の環境提供</li> <li>・ 勤労者生活資金の協調融資あっせんの充実</li> </ul>
子育て世代の雇用確保のための育児、介護休暇など労働福祉対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児介護休業制度の周知及び普及の推進</li> </ul>
仕事と生活の調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭（子育て、療養、看病、介護等）の両立）の推進</li> </ul>
勤労青少年ホームの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライフスタイルに合わせた各種講座の開催</li> <li>・ 公民館講座との共催</li> </ul>

## 重要業績評価指標 (KPI)

【総合戦略目標①-ii】【SDGsターゲット8.5】

町内の新規採用者数 (労務対策協議会会員事業所の新規採用者数 産業振興課)	
現状 (令和元年度)	目標 (令和7年度)
63人	70人

## 第2節 活気と賑わいの創出

### 第1項 観光振興の取組み



#### 施策の方針

下諏訪町観光振興計画のビジョンである「感動があふれるにぎわいのまち しもすわ」の実現に向け、歴史・文化・自然を活かし「住んでよし訪れてよし」のまちづくりを進めます。

ターゲットを明確にした情報発信やプロモーションを通じて、滞在時間と観光消費額を増加させ、地域全体の経済活性化につなげます。

交通網の発達により観光ニーズが大きく変化するなか、町ならではの観光資源の磨きあげ、新商品の開発提案、おもてなし力向上や観光客にやさしい受入態勢の充実を図ります。

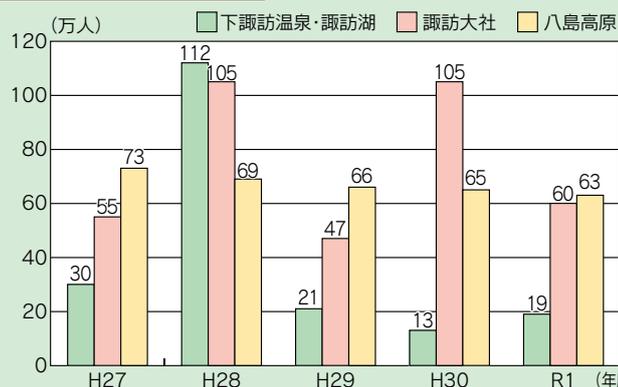
増加する訪日外国人旅行者に向け、多言語対応や滞在環境を整え、観光施設や観光事業者と一体となったインバウンドへの取組みも推進します。

広域観光の推進では、諏訪地方観光連盟や観光団体などとの連携による日本版DMO<sup>3</sup>の導入を視野に入れつつ強化し、通年観光地としての魅力や商品開発を行い「諏訪」を国内外に発信していきます。また、ビーナスラインやシルク遺産、平成30年度に日本遺産に認定された縄文文化などの広域的な観光資源を核とした、広域連携事業についても取組みを推進します。



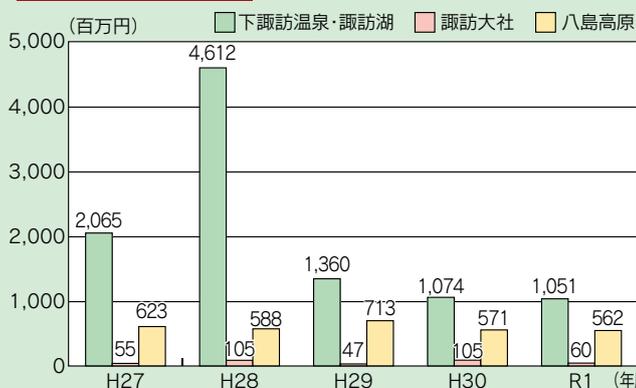
スマイルミネーション

#### 観光地利用客の推移



資料：長野県観光地利用者統計調査による

#### 観光消費額の推移



資料：長野県観光地利用者統計調査による

3：観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、コンセプトに基づいた観光地域づくり実現のための戦略策定や戦略実施のための調整機能を備えた法人

## ■ 現状と課題

高原と湖、温泉などの自然に恵まれ、諏訪大社を中心に発展した古い歴史と文化を持ち、中山道、甲州道中（街道）の要衝であったことから名所、旧跡も多く、観光立地に恵まれています。

近年、町全体への入込客数が減少傾向にある要因は、人口減少による旅行者そのものの減少や若者の旅行離れ、交通網の発達や観光客ニーズの多様化などが考えられます。通過観光地としての色合いが強くなり、滞在時間が限定されるなどの影響から、結果として観光消費へ結びつかないのが現状です。

観光推進組織を中心として、まちあるきや温泉を活用した湯巡りなどの仕組みをつくり、観光活性化を図っており、観光の目的地として選ばれるためには、山岳観光拠点としての「八島高原」、祭り文化や歴史、温泉エリアである「木落し坂、諏訪大社下社春宮・秋宮」、諏訪湖畔の「健康スポーツゾーン」の活用が鍵となり、町にしかない「ひと・もの・こと」を体感できる地域交流の仕組みづくりやソフト事業をストーリー化して国内外に幅広く情報発信し、各種ツーリズムを推進する必要があります。

## ■ 施策の展開

主な取り組み	内 容
個性ある観光ルートの設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>各エリアの魅力を活かしたまちあるき商品の開発による滞在化の促進</li> <li>祭文化や歴史を活用した商品提案</li> </ul>
観光の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光ガイドやまちあるき商品の活用</li> <li>情報提供システムの活用</li> <li>観光振興条例による支援</li> </ul>
観光素材としての諏訪湖の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>諏訪湖の景観と健康・スポーツを活かした観光連携</li> <li>イルミネーションによる賑わい創出</li> </ul>
観光施設の整備と運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>山岳観光としての八島湿原遊歩道や公衆トイレ整備</li> <li>木落し坂や春宮周辺整備による新たな周遊提案</li> <li>指定管理者による観光拠点施設の管理運営</li> </ul>
受入態勢及びイベントの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角八丁やお舟祭りなどの各種イベント開催による地域交流人口の増加促進</li> <li>増加する訪日外国人の受入態勢整備</li> </ul>
情報提供と誘客宣伝	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアや旅行会社への商品提案とホームページやSNSを活用した情報提供</li> <li>ターゲットを絞った誘客宣伝</li> </ul>
商業観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>滞在時間拡大に伴う観光消費額の増加促進</li> <li>着地型旅行商品の開発推進</li> <li>業種を超えた新たな魅力提案</li> <li>まちあるきと連動した「食」などの特産品開発</li> </ul>
温泉の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>下諏訪温泉の活用と過ごし方の提案</li> <li>宿泊施設の魅力向上</li> </ul>
広域観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>諏訪地方観光連盟による事業推進と推進組織強化</li> <li>広域観光プロジェクトとの連携</li> <li>ビーナスラインを軸とした広域観光連携の推進</li> <li>シルクに着目した広域観光連携の推進</li> </ul>

### ■ 重要業績評価指標 (KPI)

【総合戦略目標②- iii】【SDGsターゲット8.9】

観光消費額（1人あたりの消費単価 産業振興課）	
現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
2,343円	3,000円

【総合戦略目標②- ii】【SDGsターゲット8.9】

下諏訪観光協会ホームページアクセス数（産業振興課）	
現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
303,470PV	420,000PV

## 第2項 街なみ環境の整備



### ■ 施策の方針

町は、豊かな自然や多くの歴史・文化遺産とともに、日々の暮らしの積み重ねにより、美しさ、うるおい、やすらぎ、ゆとりといった町固有の景観を大切にしてきました。これらの歴史的景観を保全・再生し、良好な生活空間を保全するとともに、優れた景観の創出を図り、街なみに配慮した景観形成を進めます。

また、住民、事業者、行政の各主体の相互理解と協力を深め、地域独自の風土を理解し、重点的に整備をすべき区域を定め、公共の財産としての景観を具現化できるよう住民参画による合意形成を図りながら事業を実施することにより、良好な住環境の形成と地域活力の向上、地域社会の健全な発展をめざします。

### ■ 現状と課題

町は、諏訪大社とともに発展した温泉宿場町として、数多くの歴史的景観資源を有し、豊かな自然環境と融和したまちの景観をつくりあげてきました。日々の暮らしや生業、昔から続く祭りとともに積み重ねてきた生活風景として、旧街道、参道、路地、坂道などの風景が数多く存在しています。

しかし、近年、様々な要因によって、長きにわたり受け継がれてきた街なみが失われていく事例が増えつつあります。そのなかにおいて、立町地区や横町木の下地区、湯田町地区、御田町地区のように、住民自らが景観条例に基づく景観まちづくり団体として、景観を守り、街なみづくりに取り組んでいる事例もあります。また、しもすわ未来議会において中学生から「町中を花でいっぱいになりたい」との提案があり、町で学ぶ児童生徒が中心となり、しもすわガーデンプロジェクトが発足し、町をあげて花を育てる活動が行われています。

町では、良好な景観形成を促進するため、平成24年に下諏訪町景観条例を定め、景観行政団体へ移行し、景観計画及び景観条例による施策を総合的に講じ、美しい自然と歴史的資源を活かしたまちづくり、うるおいのある豊かな景観形成を進めています。

## 第5章

## 産業の活力と賑わいのあるまちづくり

### 施策の展開

主な取組み	内 容
良好な景観の保全・整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観計画、景観条例による良好な景観形成の推進</li> <li>・ 景観形成住民協定、景観協定の推進、景観形成リーダーの育成</li> <li>・ 屋外広告物条例の制定</li> </ul>
街なみ環境の保全・整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街なみ環境整備事業の推進</li> <li>・ 無電柱化などによる防災、安全、快適な街なみ空間整備の推進</li> </ul>
住民主体の活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しもすわガーデンプロジェクトへの支援</li> <li>・ まちづくり協議会への支援</li> </ul>

### 重要業績評価指標 (KPI)

【総合戦略目標④-v】【SDGsターゲット11.7】

街なみ環境整備事業による小公園整備箇所数（事業着手以降の累計整備箇所数 建設水道課）	
現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
3箇所	5箇所



電柱を地中化した大社通りの景観



街なみ環境整備事業（道路美装化）